

## 平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市中央老人福祉センター
所在地	四日市市日永東一丁目2番27号
指定管理者	名称 社会福祉法人四日市市社会福祉協議会 代表者 会長 長谷川 正統 住所 四日市市諏訪町2番2号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	福祉部介護・高齢福祉課 TEL：059-354-8425 E-mail：kaigohoken@city.yokkaichi.mie.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

施設の管理運営については、高齢者の各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上やレクリエーションのための便宜を総合的に供与するという老人福祉センターの設置目的に沿った運営がなされ、サービスの向上と効率的な施設運営に向けた工夫がみられました。また、施設の維持管理や事務処理も協定書及び仕様書に基づき概ね適切に行われていることから、総合的に判断して運営状況は良好であると評価します。

指定管理者は、利用者の声を施設の運営に反映させるため、アンケートを実施し、「ご意見箱」を設置しています。アンケートでは、職員の対応について評価する意見のほか、利用時間や事業内容に関する要望も寄せられました。今後、要望の内容を整理し、対応を検討する必要があります。

民間施設の充実や高齢者が活動する場の多様化などにより、老人福祉センターの利用者数は伸び悩んでいます。高齢者の健康維持や介護予防においては一定の役割を果たしていると考えます。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

利用者数が伸び悩む主な原因は、5年以上の利用者が半数以上を占めるなど固定化が進み、新規の利用者が少ないためとみられます。今後は、利用者の意見を運営の改善に生かすとともに、新規利用者の獲得に向けての取り組みが求められます。また、利用者の約半数が70歳代であることから、講座の増設やいすを利用したい人への配慮など、その年代向けの対応も重要です。老人クラブへの支援については、より自立した活動につながるよう努める必要があります。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

高齢者の健康相談に応じたり、健康増進、教養の向上、老人クラブの支援など、施設の設置目的に沿った事業が適切に実施されていました。概ね60歳以上の方が自由に利用できる施設であるため、利用者間のトラブルが生じないように調整を図るなど、公平な利用を確保するための配慮がなされていました。

## 業務内容

### 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

施設の性格上、従前の事業内容の継承に重点が置かれていましたが、館内外の環境整備や安全対策などについても注意が払われていました。また、利用者の要望や苦情については、適切に対応されていました。

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

職員体制や開館時間等は遵守され、施設の維持管理についても適正に実施されていましたが、職員の研修については不十分な点が見受けられました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

事務書類や報告書類は整理され、経理関係書類や領収書は適正に管理されていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

保守点検を適切に実施するなど安全管理・衛生管理に配慮した運営がなされていました。また、緊急時の対応については、訓練の実施や連絡体制の確保など必要な対策がとられていました。

### 社会性（環境等への配慮）

廃棄物は環境に配慮し適正に処理されていました。利用者にごみの分別や持ち帰りを呼びかけるなど廃棄物の縮減にも取り組まれていました。さらに不要な照明の消灯など利用者の利便を損ねない範囲でエネルギーの節減が図られていました。

## 事業収支

### 経済性

事業収支については、当初計画の範囲内において適正に執行されました。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表などを分析した結果、特に大きな課題や問題はなく、継続的・安定的なサービス提供に支障はないと判断しました。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市中央老人福祉センター		所管課:介護・高齢福祉課
所在地	四日市市日永東一丁目2番27号		設置年月:昭和49年6月
設置目的	高齢者に対して各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	老人福祉法第15条第5項 四日市市老人福祉センター設置及び管理に関する条例		
施設の概要	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	1,981.00	
		延床面積 (m <sup>2</sup> )	1,069.06
	設備の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール兼ロビー 127m<sup>2</sup></li> <li>・大広間 132m<sup>2</sup></li> <li>・浴室 95m<sup>2</sup></li> <li>・談話室 37m<sup>2</sup></li> <li>・集会室 37m<sup>2</sup></li> <li>・茶室 37m<sup>2</sup></li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の福祉及び健康に関する相談</li> <li>・高齢者の健康増進を図るための事業</li> <li>・高齢者の教養の向上及びレクリエーション等のために必要な支援</li> <li>・老人クラブの運営に関する支援</li> </ul>		

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	298日	298日	0日
開館時間	9:30~16:00	9:30~16:00	

## 3. 利用実績

項目	実施計画 (前年度実績)	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	46,483人	46,016人	△ 467人
平均利用者数	156人/日	154人/日	△ 2人/日

## 4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	26,065,000	26,065,000	0
その他	767,000	0	△ 767,000
収入計	26,832,000	26,065,000	△ 767,000
人件費	16,290,000	15,044,063	△ 1,245,937
管理費	9,955,000	10,089,045	134,045
消耗品費	870,000	559,954	△ 310,046
燃料費	1,986,000	2,252,137	266,137
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	4,062,000	4,297,979	235,979
修繕料	750,000	396,918	△ 353,082
通信運搬費	96,000	97,760	1,760
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	123,000	112,550	△ 10,450
委託料	1,897,000	2,155,357	258,357
賃借料	141,000	148,890	7,890
その他	30,000	67,500	37,500
事業費 (ソフト事業等)	509,000	284,000	△ 225,000
一般管理費	78,000	58,223	△ 19,777
支出計	26,832,000	25,475,331	△ 1,356,669
収 支	0	589,669	589,669

平成20年度 中央老人福祉センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	298日	298日	0日	仕様書通り	適
開館時間	9:30～16:00	9:30～16:00			
健康相談	200日	224日	24日		

2. 利用実績

単位：人

項目	実施計画 (前年度実績)	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数	39,557	38,845	△ 712	延べ利用者数は、前年を下回っているが、減少割合は改善している。	適
	団体利用者数	6,926	7,171	245		
	計	46,483	46,016	△ 467		
	平均利用者数	156	154	△ 2		
健康相談	利用者数	3,920	3,494	△ 426		
	平均利用者数	18	16	△ 2		

3. 事業収支

単位：円

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	26,065,000	26,065,000	0	繰入を見込んで予算編成を行ったが、指定管理料で賄うことができた。	適
その他	767,000	0	△ 767,000		
収入計	26,832,000	26,065,000	△ 767,000		
人件費	16,290,000	15,044,063	△ 1,245,937	〔勤務体制〕 館長1（常勤） 健康相談員1 自動車運転手1 その他職員8（必要な人数） 仕様書通りの配置となっていた。  燃料費、光熱水費については、原油価格高騰の影響を受けたものの、人件費等の節減によりカバーすることができた。	適
管理費	9,955,000	10,089,045	134,045		
消耗品費	870,000	559,954	△ 310,046		
燃料費	1,986,000	2,252,137	266,137		
印刷製本費	0	0	0		
光熱水費	4,062,000	4,297,979	235,979		
修繕料	750,000	396,918	△ 353,082		
通信運搬費	96,000	97,760	1,760		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	123,000	112,550	△ 10,450		
委託料	1,897,000	2,155,357	258,357		
賃借料	141,000	148,890	7,890		
その他	30,000	67,500	37,500		
事業費（ソフト事業等）	509,000	284,000	△ 225,000		
一般管理費	78,000	58,223	△ 19,777		
支出計	26,832,000	25,475,331	△ 1,356,669		
収支	0	589,669	589,669		

総合コメント

民間施設の充実や高齢者の活動の場の多様化などにより、利用者数は長期にわたり減少傾向にある。アンケートでは、新規教室開催の要望もあるので、利用者の増加に結びつけられないか、検討を求める。経理関係書類及び領収書等の証拠書類については、適正に整理・保管されていた。

平成20年度 中央老人福祉センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>施設の開館日数、開館時間及び健康相談実施日数は仕様書通りであり、自主事業についても計画に沿って実施された。 利用者数は、前年実績を下回ったが、対前年度減少率はやや改善している。</p>	適
事業 収支	収入	<p>計画では、指定管理料のほか、不足分を他の会計からの繰入で賄うことを見込んでいたが、指定管理料の範囲内で運営できたため、繰入は行わなかった。</p>	適
	支出	<p>各費目で計画とは増減が生じたが、効率的な施設運営に努め、全体としては計画の範囲内で執行された。 人件費については、必要な人員の配置を行ったうえで、効率的な職員の配置に努めたこともあり、見込みを下回った。 燃料費、光熱水費については、原油価格高騰の影響を受け、計画を上回った。</p>	適